



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け！

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます！

「まちづくりの哲学 都市計画が語らなかつた「場所」と「世界」

代官山ステキな街づくり協議会(企画・編集) 蓑原敬・宮台真司(著) ミネルヴァ書房



「代官山ステキな街づくり協議会」が開催した「まちづくりの哲学」というセミナーを契機に、都市計画家 蓑原氏と社会学者 宮台氏の対談から出版された本書。まちづくりがテーマですが、「幸福が訪れない世界で、私たちはなぜ明日も一日生きてみようと思えるのか？まちづくりとは、その希望を場所に刻印することなのだ。」という部分が帯に抜粋されているように、本のタイトル通り『哲学』の本なのです。

対談している二人の生い立ちから語られ、その時代背景のあらゆるジャンルにおける知識が豊富すぎるくらい深いので、たとえば、蓑原氏、宮台氏、一人ずつの部分だけを読み進めても良いかもしれません。群馬県 都市計画課では毎年「まちづくりリーダー育成事業」を開催していますが、宮台氏はファシリテーター人材の必要性も語っています。

個人的には蓑原氏がまちづくりについてあげているいくつかの都市や、宮台氏が語っていたやコミュニティデザイナーの山崎亮氏のことが気になりネットでチェック。ドイツのフライブルグは環境都市として都市デザインや再生可能エネルギー政策に力を入れている都市、また山崎氏は都市計画家からファシリテーターになった方で、どちらもこれからの「まちづくり」には参考となるかもしれません。

今号のおすすめ
ライブラリー
こちら！



マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

太田市 都市計画課 手塚 幸佑



手塚 幸佑さん



講座の様子

読者の皆さん、こんにちは。平成29年度7月に群馬県まちづくりファシリテーターの認定を受けました太田市都市計画課の手塚です。

私は、元々、議論などが得意ではなく、少しでも自分の苦手分野を克服しようと思い、この講座に申し込みました。そして、実際に本講座でファシリテーターの技術を学ばせていただくと、議論を円滑に進めるには様々な工夫が必要で、想像以上に大変でした。ファシリテーターとして、議論の水先案内人となるためには、自分の意見を発言するだけでなく、広く参加者の人から意見を引き出すことや、結論を出すまでの時間配分を考える必要があり、ファシリテーターを務めさせ

ていただいた時はいつも頭をフル回転させていました。その甲斐もありまして、本講座を学ばせていただいた後は、今までにない視点で議論を見ることができるようになり、非常に有意義な経験となりました。

また、本講座では、ファシリテーターの技術向上だけでなく、他市町村等様々な人と繋がりを持つことも出来ます。少しでも本講座に興味を持たれた方がいらっしゃいましたら、是非参加してみたいと思います。

マーチィの掲示板

吉岡町空家シンポジウム 2018

～これからの空家対策における地域の関わり方について～

吉岡町の空家問題について考える「吉岡町空家シンポジウム2018」が、2月18日(日)に町文化センターで開催されました。

第1部において、前橋工科大学の堤洋樹准教授による講演及び堤研究室生による吉岡町の空家状況調査報告、第2部において、地元住民等によるパネルディスカッションが行われました。

講演では、吉岡町内の空き家率は地区ごとによりかなり差があること、特に高齢化が進んでいる地区において空き家率が高いことがあげられました。また、空き家対策だけでなく、様々な角度から地域の発展を目指す自治体の「政策立案」が重要であるとのことでした。

パネルディスカッションは、堤准教授をファシリテーターに、住民代表者や役場職員等により「吉岡町の空家における今・未来」をテーマとして行われました。吉岡町では転入者などによる人口増が著しいが、空家を転入者や子育て世代と、長く住む住民との交流の場として利用できないか、またそこに行政が関わり信頼関係を築き、生活環境の悪化を乗り越えていけないか、など活用の可能性等について議論されました。



堤洋樹准教授による基調講演



パネルディスカッションの様子

マーチィの 独り言



「おっ！！まっちい〜」をご愛読の皆様、こんにちは。「花と緑のぐんまちづくり 2018 in 吉岡」には行きましたか？現在開催中です、ぜひお越しください。さて年度も変わり今号より、高橋、淡島、土屋、高野、白井の5名で担当させていただきます。まちづくりの話題や取り組みについて、旬な情報を幅広く、そして楽しく伝えていきたいと思っておりますので、よろしくお祈りします。

